

## 評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成19年9月17日

事業所番号	2772403164	評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
法人名	有限会社 篠原	所在地	大阪市東住吉区山坂5-5-14-103
事業所名	グループホーム こみち	評価調査日	平成 19 年 9 月 14 日
所在地	枚方市招提元町2丁目2番1号 (電話) 072-855-4181	評価確定日	平成 19 年 9 月 19 日

【情報提供票より】 (平成19年8月20日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 12 月 1 日
ユニット数	ユニット 1 利用定員数 9 人
職員数	6 人 常勤 人 非常勤 4 人 常勤換算 6.6 人

## (2) 建物概要

建物の構造	木造 造り 1 階建ての 1 階部分
-------	-----------------------

## (3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	60,000円	その他の経費 (月額)	23,000円
敷金	有 (250,000円)	有の場合	0
保証金の有無 (入居一時金を含む)	無 (円)	償却の有無	
食材料費	朝食 円	昼食 円	
	夕食 円	おやつ 円	
	または 1 日当たり 月 45,000円		

## (4) 利用者の概要 (8月20日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名
要介護 1	1 名	要介護 2		名	
要介護 3	6 名	要介護 4		2 名	
要介護 5	名	要支援 2		名	
年齢 平均	87 才	最低	82 才	最高	95 才

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 りんどう会向山病院 医療法人せのう内科 三木歯科医院
---------	------------------------------------

## 【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

大部分の職員が2年前の創業時からの勤続者でチームワークが良く、各自が担当の日常業務に責任を持って携わっており、明るい雰囲気の中で、利用者の笑顔が絶えない生活が送られている。  
また、運営者が、地元の方であるので地域に密着しており、近隣の子供達も時々、遊びに来て賑やかで利用者には喜ばれている。利用者の介護情報はセンター方式によって記録されケアの基本となっている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	職員の理念への具体的な指針6か条が毎日ミーティング室にて確認され、日々、具体的な介護に結び付けている。玄関ドアの鍵掛けはなく、開閉は穏やかなチャイム音により注意が払われており問題は起こっていない。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	前回の外部評価を踏まえて、各自の分担業務が決められ、その責任業務の遂行に努力して来た。ミーティングでも各自が担当業務について発表を行っている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	当初はホームでの生活状況の説明から行って来たが、認知症の介護内容も少しずつ説明が進められている。運営者が所在地で古くから居住していることと、町内の方々が認知症についても、正しい知識を持って頂いているので、更に、良い関係を伸ばすことが期待される。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	ご家族のアンケートにも記載されている通り、身体機能への訓練や楽しみごとで、元気に過ごしていることに感謝しておられる。職員はチームワークと思いやりの心で介護の向上を目指している。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	運営者、職員も殆どが地元の方々でもある関係で、運営推進会議を通して更に交流が深まって来ている。またボランティアの方々による音楽療法も実施され、近隣の子供達も遊びに立寄って時間を過ごし、利用者には喜ばれている。

評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I 理念に基づく運営</b>					
<b>1 理念と共有</b>					
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域での認知症対応のPR拠点としての活動ができるよう、介護の向上を目指して理念を実行している。		
2	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	経営理念に職員向けに6ヶ条の心得を掲げ、スタッフ会議で実践内容の討議を行っている。	○	日常のこととして、マンネリ化しないよう反省と点検から、更なるアイデアで向上を図ってください。
<b>2 地域との支えあい</b>					
3	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	ホームは地元の一員として自治会を始め各種行事に参加、盆踊り地藏盆、秋祭り等に参加している。		
<b>3 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価をもとに、各種の改善を進めて来た。特に職員毎に責任業務を明確にして励んでいる。		
5	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	二ヶ月毎に開催している。会議内容も事務所内で閲覧できるようにし、開かれた施設作りを目指している。		
6	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括センターと共に地域内のグループホームの代表者との情報交換会を行い、介護向上の参考とするようにしている。	○	地域の関係者のご協力で地域の住民の方々への認知症への啓発活動の集会開催を目指している。
<b>4 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	文書によるお一人おひとりの報告の他に、写真集を個人毎に作成して喜ばれている。		
8	15	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族のアンケートでもホームの介護については喜んでおられます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9	18	<p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		<p>開所以来の職員が全員勤務しており、担当制により各自が責任を持って介護に当たっている。</p>

## 5 人材の育成と支援

	10	19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>		<p>職員の得意、不得意を明確に捕らえて、課題別の研修を実施している。</p>
	11	20	<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている</p>		<p>運営協議会を機会とし、地区包括センターを通じて交流の機会を設ける機運が盛り上がり、介護技術の向上へ繋げることを計画している。</p>

## II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

### 1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12	26	<p>○ 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		<p>職員の担当制によって、ご本人、ご家族から日常の会話の中からの情報をセンター方式により記録を行っている。この記録が介護の見直しの根拠となって来ている。</p>
--	----	----	---	--	---

### 2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13	27	<p>○ 本人と共に過ごし、支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		<p>職員は日常の対話の中で喜びや、感想を共に分かち合い「ありがとう」を言ったりして親密感を持ってもらっている。</p>
--	----	----	---	--	--

## III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

### 1 一人ひとりの把握

	14	33	<p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		<p>担当職員だけでは、難しい場合にはチーム力で少しでも何かを把握できるよう努力している。</p>
--	----	----	--	--	---

### 2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15	36	<p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	○	<p>ホーム内だけでなく医師、看護師、行政関係も含めて広く知恵を求めてください。</p>
--	----	----	---	---	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	16	37	<p>○ 現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p>		

### 3 多機能性を活かした柔軟な支援

	17	39	<p>○ 事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>		
--	----	----	--	--	--

### 4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

	18	43	<p>○ かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している</p>		
	19	47	<p>○ 重度化や週末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		

## IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 1 その人らしい暮らしの支援

#### (1) 一人ひとりの尊重

	20	50	<p>○ プライバシー確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない</p>		
	21	52	<p>○ 日々の、その人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		

#### (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援

	22	54	<p>○ 食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
--	----	----	--	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		<p>入浴嫌いな方もおられ、意欲を導く対話パターンを用意している。時間帯についてはなるべく調整のきく対応を行っている。</p>

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		<p>自発的な役割を行ってもらい、自信を持ってもらうようにしている。</p>
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		<p>個々の方々の希望に応じ、適宜、外出できるようにしている。</p>

(4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		<p>体力や認知度に応じて行動半径の拡大を行っている。原則的に鍵掛けは行っていない。玄関ドアも鍵掛けは行われていない。</p>
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		<p>緊急マニュアルは目につきやすい箇所に掲示してある。消防署と避難訓練も実施済み。</p>

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		<p>毎日の生活記録で食事量は把握されている。盛付や色彩にも配慮されている。</p>
--	----	----	---	--	--

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		<p>壁面の飾り付けは職員と一緒にされており、季節感のある飾りとなっている。工夫された構造の建物なので共用空間内の換気は短時間に完了している。</p>
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		<p>居室内は月1回、職員によってベッド下の清掃やシーツ交換等も含めて清潔にされている。</p>